

問題 専門科目 [法社会学]

問 家族による高齢者の介護について斎藤暁子(2023)は、「

著作権保護の観点から、公表していません。

」と述べている(斎藤、2023:509)。また、介護の過重な負担は高齢者虐待や家族自体の崩壊などの深刻な問題を引き起こす要因になるとも考えられるが、高齢者に対する虐待問題について、山口絢(2022)は親子間の関係性(特に母と息子の関係性)が高齢者本人の虐待の自覚や表明を難しくしている面があることを指摘するとともに、「

著作権保護の観点から、公表していません。」と述べている(山口、2022:265)。

高齢者介護や高齢者虐待の問題を家族が抱え込んでしまう背景とそうした家族に対する支援のあり方に関する調査研究の例を挙示し(複数挙げてもかまわない)、その研究の意義や今後の課題について、あなたの考えを述べなさい。

出典

斎藤暁子、2023、「介護保険制度と家族」日本家族社会学会編『家族社会学事典』丸善出版、508-509.

山口絢、2022、「少子高齢社会」佐藤岩夫、阿部昌樹編『スタンダード法社会学』北大路出版、261-270.

注：出題にあたり、「『,」を「、」にする、引用文献を省略するなど、一部、文章を改変している。

広島大学大学院(博士課程前期)
法学・政治学プログラム入学試験(令和8年8月実施)

出題の意図

専門科目 [法社会学]

出題文にある通り、高齢者介護や高齢者虐待の問題を家族が抱え込んでしまう背景とそうした家族に対する支援のあり方に関する既存の研究例について説明できるかが問われている。解答例はあくまで一例であり、関連する研究を提示したうえで、その内容を適切に検討し、研究の意義や今後の課題について自らの考えを記述できるかが評価のポイントとなる。